

# プラスチックのケミカルリサイクルに向けた 触媒反応開発

## 講師：南 安規氏

### 産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 主任研究員

近年、有機ポリマーを低分子、またはモノマーに再生させるケミカルリサイクルが盛んに研究されている。2018年にヨーロッパでプラスチック戦略が宣言されるなど、国際的に関心が高まっており、今後ケミカルリサイクルの重要性が増大すると予測される。プラスチックは本来安定な高分子であるため、これを解重合してモノマー、または低分子に変換するためには適切な反応設計、とくに触媒の使用が重要となる。本セミナーでは、ケミカルリサイクルについて、最近の研究動向について紹介したうえで、(スーパー)エンジニアリングプラスチックのケミカルリサイクルの研究例、とくに触媒を用いる最近の研究成果や課題について概観する。

【講師経歴】2010年 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了、2010年4月 日本学術振興会特別研究員(PD)、2011年 中央大学研究開発機構 機構助教、2017年 中央大学研究開発機構 機構准教授、2019年5月 東京医科歯科大学生体材料工学研究所プロジェクト准教授、2019年10月より現職。2021年よりさきがけ特別研究員(兼務)

【活動】中央大学在籍時は、有機化合物の安定結合を変換する新触媒反応の創出に従事。東京医科歯科大学在籍時は、ケミカルバイオロジーを指向する有機反応開発に従事。現在は、安定有機化合物の直截変換法の開発による実用資源の拡張に従事、特に、スーパーエンジニアリングプラスチックなどの難分解性樹脂のケミカルリサイクル技術の開発に注力

【所属学会】日本化学会、有機合成化学協会、近畿化学協会、ケイ素化学協会、石油学会、アメリカ化学会

【著書】Transition metal-catalyzed cross-coupling of organosilicon compounds Tamejro Hiyama, Yasunori Minami, Atsunori Mori In *Organosilicon Chemistry: Novel Approaches and Reactions*, Eds. Tamejro Hiyama, Martin Oestreich, Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA, 2020, p271-332. など

開催日時	2022年10月27日(木) 13:30~16:30	※本セミナーは、 <b>当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナー</b> となります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。 <b>詳細は裏面をご覧ください。</b> ★受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。
受講料	44,000円(税込) ※資料付 *メルマガ登録者は 39,600円(税込) *アカデミック価格 26,400円(税込)	

\*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。★【得られる知識】プラスチックのケミカルリサイクルに用いられている、また求められる有機反応技術、触媒技術についての情報、これまでの研究動向。論文等で紹介されている最近の研究動向、(スーパー)エンジニアリングプラスチックなどの難分解性樹脂のケミカルリサイクルについての研究動向

★【参加対象者】プラスチックのケミカルリサイクルに関心を持たれている方、またはこれから従事する可能性のある方。最新の学術論文の事例に着目し、触媒的樹脂分解法を中心に情報を提供します。

#### 【本ウェビナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

- プラスチックのケミカルリサイクルについて
  - ケミカルリサイクルについて
  - 最近の学術研究の動向
- エンジニアリングプラスチックのケミカルリサイクル
  - PETの触媒的分解
  - PCの触媒的分解
  - その他のエンジニアリングプラスチックの分解
- スーパーエンジニアリングプラスチックのケミカルリサイクル
  - ケミカルリサイクルの動向
  - 触媒的解重合法の事例
- おわりに

弊社記入欄		ウェビナー申込書	
セミナー名		プラスチックのケミカルリサイクルに向けた触媒反応開発	
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○ ↓	会社名(団体名)	TEL:	
	住所〒	FAX:	
		E-mail:	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法		銀行振込 ・ その他	お支払予定
			2022年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先: ㈱シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <https://cmcre.com/>

参加申込 FAX 番号  
**03-3291-5789**

2022年10月27日（木）開催

# プラスチックのケミカルリサイクルに向けた 触媒反応開発

**講師：南 安規氏**

**産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 主任研究員**

**当該セミナーは、ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）です！**

## 【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。  
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

## 【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

## 【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6>

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。